

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年5月11日		記入者		連絡先	内線456
平成18年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
平成19年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
事務事業名	公共下水道整備補助事業					
予算上の事務事業名	無指定区域分					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32610		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理					
施策名	第1施策 汚水対策の推進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
下水道法第3条(管理)公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理は、市町村が行うものとする。						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	津久井町内公共下水道(汚水)整備国庫補助事業			津久井町内 整備予定面積：約500ha(全体)人口：10,200人 総事業費：約9,216百万円 世帯：3,700世帯		
計画年次	7	年度～	32	年度		
4 事業形態の区分			建築・整備・重要物品購入	5 事業開始年度		平成7年度
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
公共用水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図るため、津久井町内の公共下水道整備区域内の生活排水対策の一環として補助対象事業となる公共下水道(汚水)整備を推進するもの。					整備予定面積： (残り)285ha	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
公共下水道三ヶ木系統整備工事(1～6工区) 公共下水道中野系統整備工事(1工区)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
類似施設がある他市においても同様である。						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	245,626	322,950	485,000	
一般財源	0	0	0	28,010	25,335	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	245,626	294,940	459,665	
人件費の合計	0	0	2,415	2,415	2,415	
事業コスト合計	0	0	248,041	325,365	487,415	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	公共下水道整備国庫補助事業(箇所指定)			対象名称 と単位	工事件数(件)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	248,041	239,932	401,932	
対象数	0	0	7	5	8	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	35,434,429	47,986,400	50,241,500	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.35	1.05	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	工事完了件数（件）		指標式と指標の説明	工事完了件数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	7.0		
目標	0.0	0.0	7.0	5.0	8.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	汚水整備率（％）		指標式と指標の説明	汚水整備済面積/汚水整備対象予定面積×100 汚水整備された面積（％）	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	9.3		
目標	0.0	0.0	9.3	15.7	15.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		・汚水処理施設交付金及び水源環境税を有効に活用し、整備の充実を図り、公共水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に努める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
・公共下水道整備区域と浄化槽使用区域を明確にすることで生活排水処理区域の整備拡充ができ、公共水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に繋がる。			浄化槽使用区域内における処理した排水の受け入れ整備が必要となってくる。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		・当面、用途地域の隣接地までの拡大を図り、公共水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に努める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			